平成３１年１月　第２５号　認定NPO法人さわおとの森　発行責任者：理事長 清野精維

広報 さわおとのもり

2019年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、認定ＮＰＯ法人さわおとの森の運営にますますのご理解とご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

思い起こせば、法人さわおとの森が宮城県から認証を受けたのが平成１７年１０月なので、法人設立１４年目を迎えたことになります。そして、一番目の事業所として多機能サポートランドさわおとの森を平成１８年４月に立ち上げ、理事長ほか８人の職員で運営を開始。そこから地域のニーズに答え、主なものとして「塩竈市ひまわり園」「あのねの森」「生活介護わのみ」「こども相談支援つくしんぼ」「あかいしの森」「利府こども発達センター」「地域拠点センター」等を次々と立ち上げてきて、現在関わっている職員も理事長ほか８７人となりました。

さわおとの森は、設立時に障害児のサービスが非常に足りないということで立ち上げたので、児童福祉法に基づく障害児の医療型を除く６種のサービスはすべて実施しております。そして、保育士等の職員以外に専門的にサポートする臨床発達心理士・作業療法士・言語聴覚士のほか看護師までも常勤していることも特徴の一つであります。

その他に、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスも殆ど実施しており、ふと気づくと実施していない事業は就労系と入所支援だけでありました。これら１３種２４指定の事業のほかに、４種の自治体委託事業を５つの事業所で実施していることを考えれば超多機能事業所だなと改めて思い起こされます。

また、法人さわおとの森の特色はショートステイでもあります。さわおとの森の１１人定員のショートステイと利府こども発達センター内にある５人定員のショートステイ「みんなの家」を２ヶ所運営していることです。ショートステイは全国的にはまだまだ足りない状況でありますが、夜間職員確保が難しい等の理由で設置数が殆ど伸びない状況です。法人さわおとの森は、法人全体の半数ほどの職員が２ヶ所の当直業務にあたっております。東日本大震災時には、さわおとの森で当時９人定員にもかかわらず毎日１７人の利用児者を１日交代で受け入れ、当時難しかった毎日の入浴、食事、寝具等を提供しました。職員もへとへと状態で１ヶ月ほど頑張ったこと、そのご父兄から感謝されたことなどが懐かしく思い出されます。ショートステイは在宅障害児者及びそのご家族の大切なサービスの一つだと思います。

今後も地域のために励んでまいります。今年もよろしくお願いいたします。

副理事長　髙 橋　繁 夫

ショートステイ「みんなの家」増築工事終了！

【手前が増築した部分】

利府こども発達センター内にあるショートステイ「みんなの家」を、昨年１０月から増築工事が始まりました。設計・施工管理は株式会社池下建築設計様、建築は大東住宅株式会社様で、１２月２７日に引き渡し式が行われました。

【テープカットする理事長】

「みんなの家」は、居室２部屋で３人定員でしたが、今回一つの居室をリビング・ダイニングに改装して、新たに２居室と浴室トイレ、洗面台、さらに２階第２職員室を居室に改装し専用階段も設けました。このことにより、定員を５人に増やし、さらに居住空間をグループホーム「みんなの家」と完全に分けることにより、ゆったりとした生活環境になりました。また、宮城東部地域生活支援拠点等事業の緊急ショートステイも、ハード的に余裕のある受け入れとなります。ぜひ皆さん「みんなの家」をご利用くださいませ。

居室を改修したリビング

新たな二つの居室

豪華で見晴らしの良い２階居室

広々とした浴室

地域拠点センターふきのとうについて

宮城東部地域２市３町の委託を受けて、平成２９年度からスタートした地域拠点センターふきのとう。今回は「宮城東部地域自立支援協議会事務局」の機能についてご紹介いたします。

障害者総合支援法の中で地域自立支援協議会（以下『地域協議会』）は、「関係機関等が相互の連携をはかることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について、情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う」場として位置づけられています。私たちは2市3町が合同で設置している地域協議会の事務局機能を担っています。

地域協議会の活性化は地域にお住いの皆さまが抱えておられる将来に向けた課題を解決する上でも大きく影響していくものであります。しっかりと皆様の声に耳を傾け、一つ一つを解決するお手伝いをさせていただきます。

宮城県障害児等療育支援事業「あとれ」について

平成２９年４月より宮城県から「障害児等療育支援事業」の委託を受け、事業を開始して２年目となりました。この事業では、臨床発達心理士・作業療法士・言語聴覚士が、発達の気になるお子さんやそのご家族、支援者等の療育に関するご相談に応じています。対象地域は、塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・松島町・利府町の２市３町ですが、このサービスの強みは「障害者手帳や障害福祉サービスの受給者証がなくても利用可能である」ことです。つまり、対象地域にお住いの方は、「誰でも！」利用することができます。未就学児から高校生の方まで利用していただいており、相談内容は多岐にわたりますが、専門職がそれぞれの特性を活かして相談に応じています。

「日々是好日」という言葉を聞いたことがありますでしょうか。２０１８年には同じタイトルの映画が大ヒットしました。誰しもが「今日も一日よい日でありますように」と願いますが、実際には、天気がよかったり雨が降ったり、よいことがあったり嫌なことがあったり…思い通りにはいかないものです。しかし、どんな出来事があっても、この一日は二度とないかけがえのない一日です。「日々是好日」は、「目前の現実が喜びであろうと、悲しみであろうと、ただ今、この一瞬を精一杯に生きる」という境地だそうです。その一瞬一瞬の積み重ねが一日となり、かけがえのない一時一日となっていきます。この言葉のように考えると、とても清々しく、心が軽くなるのではないでしょうか？私たちは、皆さんの毎日の積み重ねがかけがえのない日々になるようにお手伝いをしたいと考えています。

事業開始から２年足らずですが、これからも皆さんのお役に立てるよう日々研鑽を積んでいきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

＝久光製薬株式会社様からのご寄附ありがとうございました。＝

従業員と企業が一体となった社会貢献活動として 2007 年に「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」を設立されました。

これは、従業員が拠出する毎月の寄付金と、その同額を会社が拠出する形で運営しています。支援先は従業員の皆様の推薦に基づき、久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部委員会で決定しています。

縁があって、当法人を推薦していただき、今年１月に１０万円のご寄附を頂きました。利用者支援のために使用させて頂きます。誠にありがとうございました。

＝当法人が、宮城県で初の認定ＮＰＯ法人が更新！　皆様の温かいご支援ありがとうございます＝

平成２５年７月１９日に、宮城県管轄として２番目に認定ＮＰＯ法人に認定されてから早５年。認定期間は５年ですので、昨年４月に認定更新を宮城県の担当部署へ申請、２日間の現地調査にて、同年７月１９日に宮城県管轄で初めての第２回目の認定ＮＰＯ法人に認定（更新）されました。認定期間は５年後の２０２３年７月１８日までとなります。

この中で重要なのが、「パブリックサポートテスト」というもので、３，０００円以上の寄付者が年間１００人以上、これを認定期間の５年間クリアしなければいけません。皆様からの賛助会費等でのご協力によるものであり、本当にありがとうございます。

今後もご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

＝ボランティアを募集しております＝

当法人で行っている児童発達支援（母子通園）の兄弟児赤ちゃんのお世話をしていただける方を募集しております。時間は１０時から１３時までです。場所は富谷のあかいしの森と、利府こども発達センターです。子育ての終わった方や学生でも構いません。ご連絡をお待ちしております。

連絡先：０２２－２９０－３５６７

【編集後記】

平成最後となる三一年の新年となりましたが、皆様には良い年となりますようお祈りしております。ただ、昨年暮れは大雪となりましたが、今年の天気は如何なものか。昨年夏の酷暑、地球温暖化、マイクロプラスチック、中国等の大気汚染、アメリカのパリ協定からの離脱等、地球の環境が心配ですね。

私たちの子孫のためにも地球環境に良い取り組みを望みたいものです。

多機能サポートランドさわおとの森　「さわおとの未来（ひかり）」　～テーマは、「夢」と「道」～

“さわおとの未来（ひかり）”と銘打って始まったライトアップ。今年も園庭と園舎の一部に光のオブジェを作成させて頂きました。昨年度同様「エコ」コンセプトを継続し、省電力のLEDをメインに使用し（エコノミーの観点）、不要になった素材を再利用（エコロジーの観点）して構成しています。

イベントの趣旨に賛同頂いた皆さまのご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。このイルミネーションの光を具現するが如く、地域の中で光明と夢を発信し続けるさわおとの森で在りたいと願っています。

（ライトアップ期間：H30.12.25～H31.1.6）

主任　佐藤　祥

各事業からのお知らせ　～活動報告～

放課後等デイサービス “くるみクラブ”

今年度は季節行事にスポットを当てた活動を行っています。ハロウィンであれば、壁面制作やパレード、クッキングを一連で計画し、子供たちが行事について意識できるように取り組みました。

10月よりタブレットを使った申し送りを始めました。

より生き生きとした活動の様子を伝えることができているかと思います。

くるみクラブ　主任　伊藤　達也

“生活介護わのみ”

活動では運動を通しての体力づくりや技能維持・向上を目的とした作業を行っています。

また地域社会参加の一環として、清掃作業のほか今年度は新たに“鯉の給餌作業”を取り入れました。生き物の世話を通して豊かな感性が養われることを期待しています。

スタッフの充実に伴い、今後はよりきめ細かく個性豊かな活動を企画していきます！

『わのみ』　リーダー　早坂　祐二

短期入所

食事・入浴・掃除・就寝等の場面を職員と一緒に取り組みながら、生活スキルの向上を目指しています。

皆さんに楽しんで頂くため、今年度は様々な行事を企画、実施しています。外出行事としてカラオケやボウリング、光のページェント等へ出掛けました。その他に園内でＢＢＱ、芋煮会を行いました今後も色々な活動に取り組んでいきたいと思っています。

ショートステイ　宮下　麻美

居宅介護・行動援護等

昨年は、定期的な通院等の支援（通院等介助）、在宅における支援（居宅介護）の他、町内で食事や買物をしたり、映画鑑賞やプール利用などをサポートする外出支援（移動支援・行動援護）を実施しました。基本的に１対１の支援のため、回数や時間数のご希望に沿うことが難しい状況ではありますが、可能な限りニーズに応えられるよう今後も取り組んでいきます。私どもも楽しみながら支援させて頂いています(^_^)/

佐藤　千裕

園長からひとこと　～程好い間合い～

利用者およびご家族の皆さん、新しい年が明けました。皆さんにおかれましては、「今年はやるぞ！」と装いを新たにしているのではないでしょうか。

さて、事業所・さわおとの森は、昨年から「業務改善」を目標に掲げ、現在進行形ですが、２０１９年は、これに加えて利用者およびご家族の皆さんはもとより、関係する皆さんと「適切な関係性と適度な距離感」を意識し、すべての場面で大らかな関係性、程好い間合いが出来るよう、努めていきたいと考えています。　園長　髙橋　正蔵

塩竈市ひまわり園

みなさんこんにちは。塩竈市ひまわり園です。ひまわり園は塩竈市より三回目の指定管理を受け、隣は塩竈市の藤倉保育所と併設され交流保育も行っています。この時期になりますと体も冷える時期ですね！！子どもたちと沢山関わり体を暖めていきたいと思います。

それでは早速になりますがひまわり園の近況を報告していきたいと思います。

ひまわりキッズ（児童発達支援）

ここ最近の大きなイベントはクリスマス会がありました。楽器を使ってみんなで演奏♪♪子どもたちもいい表情をしています。

ひまわりクラブ（放課後等デイサービス）

ひまわりクラブでは親子見学週間を行いました。ちょっと大きいオセロゲームとクリスマスケーキを作りました。ご参加いただいた保護者さまありがとうございました。

１０月２１日（日）　第２回「あかいしまつり」がおこなわれました

今年のテーマは『ハワイアン』。Hula Studio の安達由美子先生他スタッフ３名をお迎えし、ハワイの心地よい音楽に癒されながら優雅なダンスを皆で楽しみました。

まつりのオープニングはピアノの連弾から始まりました。齋藤実慧さん、夏輝さん姉妹による演奏で、みんなが知っているなじみのメロディーはこれから始まる楽しいお祭りへの期待感を盛り上げてくれました。

未就学のむーとんによるステージはこの日のために練習した出し物の発表です。練習の時とは違うたくさんの人の前での発表に緊張する様子もありましたが、そんな子どもたちを会場が一体となって応援していました。

フラのステージでは、生ギターの伴奏で初めて見るような楽器やいろいろなダンスが紹介され、音楽好きのあかいしの子どもたちはさっそくステージに合流。そんな子どもたちを受けとめながらステージは温かく進行していきました。途中、職員扮するハワイの大王と仲間たちも登場し、ステージは大盛り上がりとなりました。

フィナーレの全員セッションではワークショップで作ったレイを首にかけ、軽快なハメハメハ大王の音楽にあわせてフラダンス。子ども達、保護者の方々、職員、みんなの笑顔がはじけました。

また今年も富谷市にある他事業所の協力を頂いて物品販売が行われました。おいしいパンや可愛い手芸作品、陶芸作品などを求めて販売会場は大賑わいとなりました。

来場者数は１５６名、４７家族。昨年同様今年もあかいしまつりは大成功裏におわりました。

利府こども発達センター　りふこミニミニフェスティバル

１１月３日（土）は、大変すがすがしい青空に、朝から気持ちが高揚するのが分かりました。初めて利府こども発達センターで開催されたお祭りは、ご利用者やご家族、地域の方が足を運んでくださり 127 名もの来場がありました。コーナーやステージに快く参加してくださった事業所等の皆様や美しい音色を聴かせてくれたコカリナ合奏団の皆様がイベントを盛り上げてくれました。サプライズバザーも行ない、来場された方々が楽しんでくださり、ささやかではありましたが、アットホームなイベントができましたのは、たくさんのご協力と応援してくださる方々の支えがあってのことと心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

ミニフェス実行委員長　今野　智恵美

たくさんのバザー品
どれにしようかな～

いらっしゃい！いらっしゃい！！

大盛況の松の実さんでした

ハンドマッサージ
リラックスタイム

スライムづくりに夢中

毎日コーナーで景品ゲット！